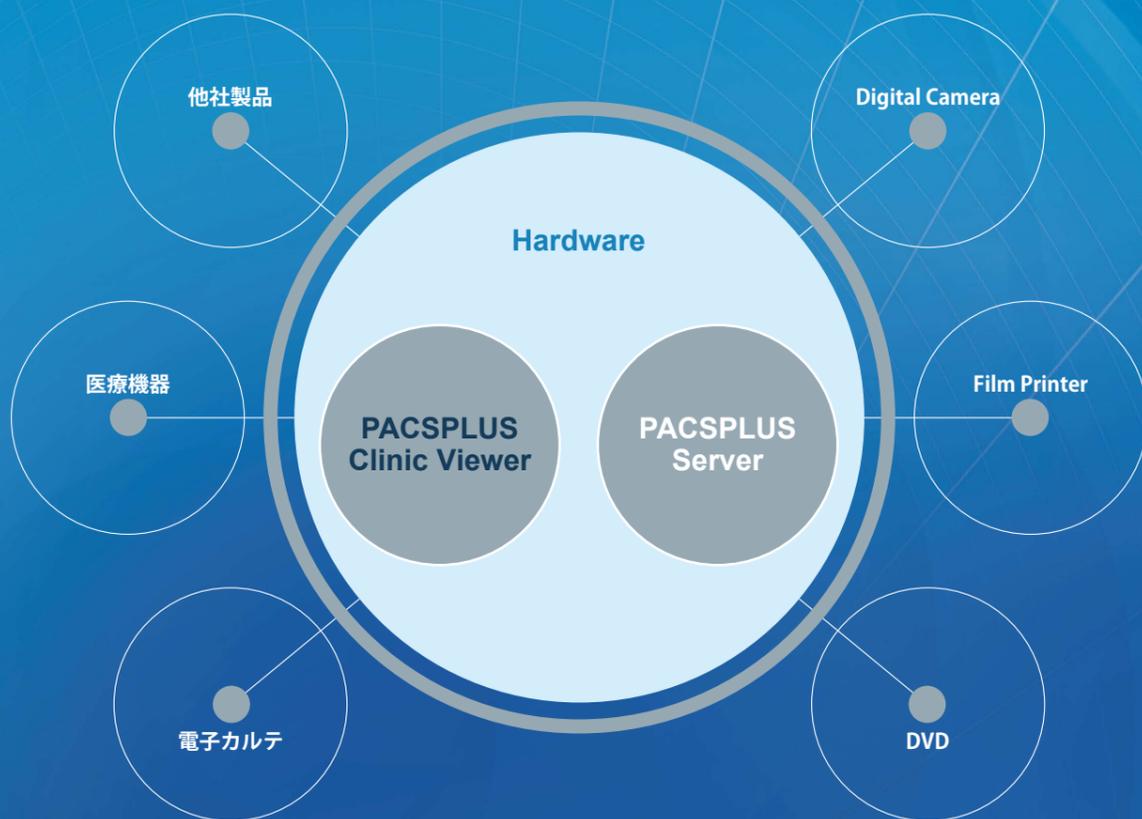


長年の実績とノウハウを積み重ねてきたPACSPLUSソリューション
機能ごとにモジュール化されたプログラム構成による柔軟なシステム構築



PACSPLUS Clinic Viewer最低動作環境

- CPU:Pentium IV 3GHz 以上
- メモリ:4GB 以上
- HDD:Client:500GB以上,MSDE:1TB以上(SCSI推奨)
- OS:Windows 7/10

PACSPLUS Clinic Viewer推奨動作環境

- CPU:Core i5 3GHz 以上
- メモリ:8GB以上
- HDD:Client:1TB以上、MSDE:1TB以上SCSI 推奨)
- OS:Windows 10

PACSPLUSについてより詳しい情報は <http://hesel.jp/> をご覧下さい。

■開発元

株式会社 HeSeL (ヘッセル)
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-11-3 ディアレト東京 8F
TEL 03-3553-1201(代表) 03-3523-5390(サービス)
FAX 03-3555-5122
<http://hesel.jp/>

■お問い合わせ先

お問い合わせ先

■「PACSPLUS」は株式会社HeSeLの登録商標です。



安全に関する注意
製品を安全にお使い頂くため、使用前に必ず「取り扱い説明書」をよくお読み下さい。
記載内容は機能向上のため予告なく変更する場合があります。最新版についてはお問い合わせ下さい。

Medical Imaging Workstation

PACSPLUS Clinic Viewer

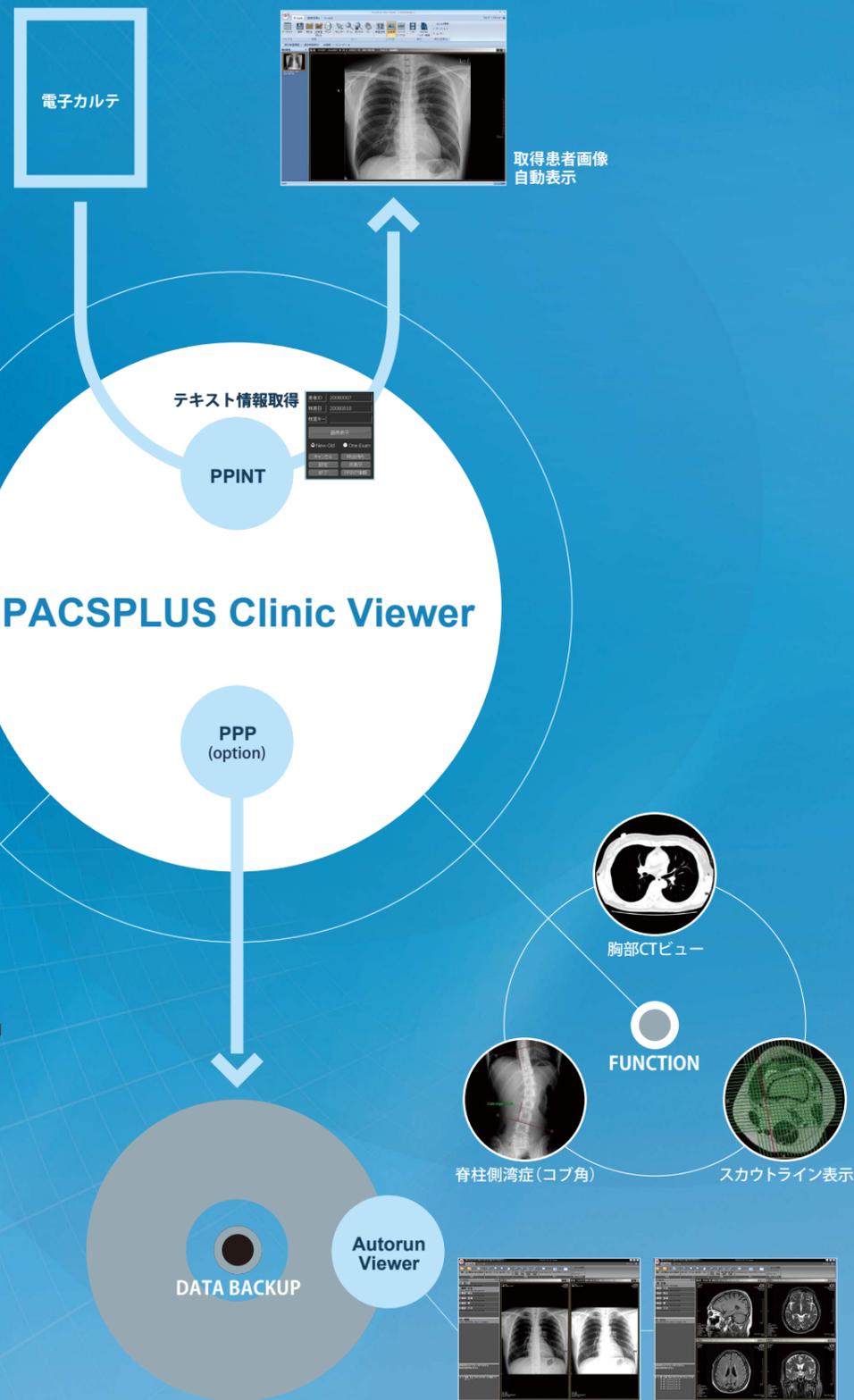
使いやすさを追求したユーザーフレンドリーなインターフェース
クリニックに適した医療用画像処理・配信ワークステーション



Windows 10 対応

便利な機能、フレキシブルな操作で デジタル画像がさらに身近に!!

電子カルテ連動モジュールの搭載でバーコードリーダーやICカード等を利用し、カルテ側の患者画像をPACSPLUS Clinic Viewer上に自動表示。
CT、DR、US、DSA、CR、MRなど各モダリティからの医療画像を高画質のまま高速処理。



PPW基本機能

- Window Width / Level調整
- 拡大・縮小・パン機能
- シネ表示
- 各種計測機能(長さ、角度、心胸比)
- 画像左右回転・左右上下反転
- 過去検査リストの表示
- 画面上で診断所見入力
- 院内情報システム(HIS / RIS)との連動
- 心胸比(CTR)

使用環境に合わせた表示モード

フォントの大きさは三段階に調節可能。また、背景の表示色を青、黒、ベージュ、アクアの四色に切り替えることができます。



多彩なレイアウト変更

過去検査サムネイル、過去検査履歴ウィンドウを上下左右に配置させ、自分の使いやすいレイアウトに変更することができます。



最適なサーバー構築

親機をサーバーとし、クライアントPCを4台まで増設、最大5台のミニPACSシステム構築を実現させます。

電子カルテ連動プログラムPPINT (PACSPLUS Integration)

PPINT (PACSPLUS Integration) プログラムの搭載で電子カルテから送られた特定患者様の画像をPPW上に自動で表示することができます。



QC機能

検査情報編集機能
患者名・患者ID・検査日・モダリティ情報・所見・DICOMヘッダ情報などの編集を可能とします。

他社製品との連動

詳細なパラメータ設定が可能なので、他社製品との連動がしやすい仕様になっています。

画像表示機能 / 搭載新機能

- サムネイル表示機能
照会したい画像をサムネイル上表示
- スカウトライン表示
スカウト画像を表示して、選択した画像の断面位置を表示
- 多彩な画像表示レイアウト
任意のシリーズレイアウトが可能
検査比較機能
- 脊柱側湾症(コブ角)計測機能RT
- 脊柱側湾症(コブ角)計測機能LT

サムネイル表示 / リスト表示

表示サムネイルを好みの大きさに変更することができます。また、リスト表示モードまたはサムネイル表示モードに簡単に切り換えることができ、表示位置も上下左右、自由にレイアウト可能です。



順次ソート機能搭載

点線の検査項目をつかみ、実線の部分に配置させることで多数の検索条件を順次ソートすることができます。



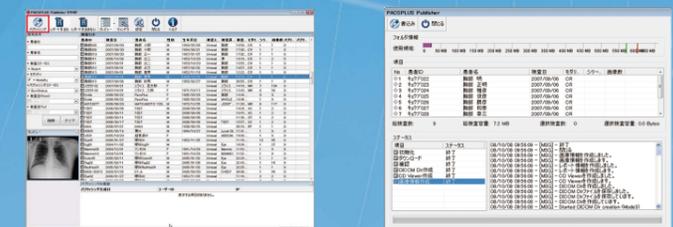
過去検査と現在検査の比較

過去および、今回の検査画像を並べ、連動させることで効率の良い比較読影が可能になります。



PACSPLUS Publisher (PPP) (オプション)

安全・安心なデータの持ち出しや配布のための書き込み、また、書き込んだデータをPACSPLUS Viewerがインストールされていないパソコンでも、メディアを挿入することだけで自動表示します。



メディア挿入後、ワンクリックだけの操作で書き込みが開始される解りやすい画面構成

DICOM支援

- DICOM Storage SCU, SCP
- DICOM Query/Retrieve SCU (SCPIはPPSで支援)
- DICOM Print SCU
- DICOM DIR